



日曜には埋葬しない

「ブーロニユの森に死体発見さる。犯行は八ヶ月前か？」

ある日、パリの新聞が殺人事件を報じた。直ちに警察はみなりのぱりとした一人の黒人青年フィリップを召喚した。

「君が被害者と知り合った経緯は？」

マルティニック島生まれの二十三才になるこの青年は自分のこれまでの生活と孤独を語りはじめた。

監督……………ミツシエル・ドラック
原 作……………フレッド・カサック
キャスト……………フィリップ・モリイ
……………クリスチナ・ベンツ
……………エラ・ペトリ
……………アルベール・ジルウ

ずぶの素人ばかりの出演による、三十才の新人監督のヌーベル・バーグ映画、期待の話題作である。

■ 東和提供☆フランス：ポール・ロワイヤル・フィルム作品。

フランス 菓子の歴史



フランス人の朝食は、「あついきャフェオーレとクロワッサン又はブリオーシュ」と相場がきまっています。クロワッサン (Croissants) は、三日月形をした ^{プチ}Petit Pain のこと。パン屋さんにとって、甚だ名誉な伝説の持主です。1683年のこと、ヴィエヌの町は、

突然トルコ兵に包囲されました。パン屋の仕事は、当時から夜なべであつたとみえ、睡気まなこをこすりつつ、粉をこねたり、焼いたり忙しく働いていました。すると、聞きなれぬ怪しい物音が、夜の沈黙を破って伝わってきます。耳のせいとか、と彼は聞き耳をたてて、じっと静かにしました。いや、やはりきこえてきます。それは、絶えまなく土を掘りかえす対壕掘りの音でした。彼の非常の警告によって、トルコ兵の奸計は見事にみやぶられ、潰走せざるを得ませんでした。ヴィエヌは無事でした。この記念すべき事件を永久に人々の心にとどめるために、トルコの旗をかたどって、三日月形の ^{プチ}Petit Pain を作るようになりました。しかもこの時から、パン屋は ^{パート}Pâte feuilletée (パイだね) で、^{プチ}Petits Pains をつくる特権も得ました。その当時まで、パートフュテは、菓子屋以外扱うことが出来なかったのです。

前世紀から続いて、^{タルムーズ}Talmouses de Saint Denis は、評判でした。それに ^{ゴベ}Flagels と ^{ゴベ}Gobets という二種類の ^{エシローグ}échaudés, ^{ムニョード}menudes と ^{フィダイク}fidiaux と ^{マス}Gobets という二種類の ^{マス}massepains, そして、その他流行ったのは、^{コルヌオウ}Cornuaux, ^{クワクラン}feuillages, ^{メルヴェイル}craquelains (噛むとカリカリ歯の音がするという乾菓子), ^{メルヴェイル}merveilles (軽い揚げ菓子), ^{クレプ}crêpes (薄いお好み焼の様なもの), ^{パート}Pâte royales, etc・その作り方は、つまびらかにされてはいませんでした。

ルイ十三世の頃、ボワチェではじめて創られたのが、^{ダリオール}Darioles です。^{バルトレスカ}Baltresca という名のスイス人の菓子屋が、^{ミリアス}ボルドーの milliasses からインスピレーションを得て作ったということです。milliasses は、ラングドックでは、一種の粥の様なものを指し、とうもろこし粉とか、又は、上質小麦粉と、とうもろこし粉の混合などでつくる菓子のことです。然し、ダリオールという名前は、既に大分前からあった様です。

(門倉國輝)